

2022 家族でかくにん!

わが家のぼうさい コンテスト 入賞作品集



もしものときに備え、家族で話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会

(福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町)

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会
特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

もくじ

- 2 入賞者一覧
- 3 審査委員名
審査講評
審査委員長
福井工業高等専門学校
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏
- 5 最優秀賞 作品紹介
福井市和田小学校4年 田中 優月さん
- 7 優秀賞 作品紹介
福井市清水西小学校6年 田中 稟愛さん
- 8 優秀賞 作品紹介
敦賀市中央小学校5年 上野 湖花さん
- 9 福井新聞社長賞 作品紹介
越前市吉野小学校4年 一 弘晃さん
- 10 NHK福井放送局長賞 作品紹介
福井市東郷小学校6年 岡田 桜子さん
- 11 JA 共済連福井本部長賞 作品紹介
福井市豊小学校5年 田川 歌鈴さん
- 12 入選作品の紹介
- 18 奨励賞作品の紹介

2022 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧

 最優秀賞	福井市和田小学校4年 田中 優月さん		
 優秀賞	福井市清水西小学校6年 田中 稟愛さん	敦賀市中央小学校5年 上野 湖花さん	
 福井新聞社長賞	越前市吉野小学校4年 一 弘晃さん	 NHK 福井放送局長賞	福井市東郷小学校6年 岡田 桜子さん
 JA共済連福井 本部長賞	福井市豊小学校5年 田川 歌鈴さん		
 入選	福井市順化小学校6年 藤本 大翔さん	福井市日之出小学校6年 櫻井 栄太郎さん	福井市円山小学校1年 牧田 樹莉さん
	福井市社北小学校6年 上田 彩葉さん	福井市東郷小学校6年 高橋 美和さん	勝山市北郷小学校6年 田中 大樹さん
	坂井市雄島小学校6年 中島 大貴さん	坂井市三国西小学校5年 古木 綾乃さん	坂井市高椋小学校3年 岩佐 将太郎さん
	鯖江市北中山小学校4年 川端 千陽さん	若狭町三方小学校6年 長谷川 沙津紀さん	
 奨励賞	福井市社北小学校6年 津田 彩花さん	福井市社南小学校5年 藪根 鈴子さん	福井市社南小学校6年 服部 真璃阿さん
	福井市社南小学校6年 角田 茜さん	福井市社南小学校6年 伊藤 詩音さん	福井市社南小学校6年 中村 羽玖さん
	福井市社南小学校6年 宇野 銀志朗さん	福井市麻生津小学校4年 矢納 友俐さん	福井市美山啓明小学校3年 川端 乃愛さん
	福井市美山啓明小学校5年 川端 颯真さん	福井市清水西小学校4年 山口 莉央さん	福井市清水西小学校4年 青木 佑晟さん
	坂井市雄島小学校5年 新谷 武蔵さん	坂井市雄島小学校6年 岡崎 友穂さん	坂井市雄島小学校6年 道川 創太さん
	坂井市三国西小学校6年 松浦 隼士さん	坂井市三国西小学校6年 今田 光海さん	鯖江市惜陰小学校4年 北川 珠莉さん
	鯖江市立待小学校6年 橋本 稜央さん	鯖江市北中山小学校4年 田中 結士さん	鯖江市北中山小学校5年 宮澤 真佑乃さん
	越前市吉野小学校5年 福田 陽菜さん		

審査委員名列

審査委員長	辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員	橋本 亮氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
	渡邊 真二氏	気象庁 福井地方気象台長
	平林 透氏	福井県土木部副部長
	吉田 仁氏	永平寺町防災安全課長
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業統括本部長
	久代 雄一郎氏	NHK 福井放送局長
	岡本 寛紀氏	JA共済連福井本部長



審査講評



〈審査委員長〉 辻子 裕二氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

今年で第9回目となる「わが家のぼうさいコンテスト」の応募作品数は111点でした。昨年と比べ作品数は減っていますが、応募校数は25校と過去最大となっており、県内各所に防災・減災の裾野が広がっているのを感じます。応募者とそのご家族はもとより、ご指導にあられた方々、調査等に協力された皆様のご尽力に、厚くお礼申し上げます。

今年が小学校が夏休みに入った8月初旬に県内で大雨による災害が発生しました。このこともあって、県内では水防災への関心が高まっているのではないかと捉えています。昨今の災害で顕著なのは、局地的に強い雨や雪が、何度も繰り返し襲ってくることです。機密性の高い住宅で過ごしていると、知らぬ間に立ち退き避難が困難になっていることもあります。そのような場合、どうしても対応を慌てることになります。落ち着いていれば簡単に思いつくことが、強い大雨や大雪などに囲まれているときには焦って混乱することもあるでしょう。そのようなとき、今回応募いただいたような作品を見返すことで、家族が少なからず余裕を持ち、適切な行動に結びつくものと考えます。できれば、玄関やリビングなどの皆の目につくところに作品を掲示して

いただきたいと思います。

一方、第3回目となる「わが町のぼうさいコンテスト」には、今回11点の応募がありました。「わが町…」の審査は、どちらかと言えば目に入る成果物（作品）というより、当該組織の活動実績の中で見出される実効性・独自性・継続性に着目することになります。上位の作品には、たくさんの方が関わって、時間をかけて練り上げ、継続性を担保する仕掛けが組み込まれています。地域の安全・安心のために、ときに新たな組織を立ち上げ、長期間に渡りその組織をまとめることはとても根気の必要な作業だと思います。改めて、そのご尽力に敬意を表します。

繰り返しになりますが、令和4年8月に福井を襲った大雨では、たくさんの被害が確認されました。しかし、直接死はゼロでした。この事実は、被害全体の規模から見れば奇跡的なこととも言えます。ただし、同じような大雨が再び襲ってきた際に、同じ行動をとって同じ結果で済むとは限りません。我々住民は歳を積み重ね、設備は経年劣化し、家族構成や地域の状況も変化していきます。したがって、「この前は大丈夫だった」という言い訳に流されないようにしなければなりません。そのためにも、本コンテストの成果やマインドが各家庭・各地域に展開されるよう願っています。

2022 家族でかくにん！

わが家のぼうさいコンテスト

入賞作品集



表彰式で辻子審査委員長（左）から賞状を受け取る、最優秀賞の田中優月さん
＝2022年10月30日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



壇上に並ぶ奨励賞受賞者



壇上に並ぶ入選受賞者



作品で工夫した点など、司会者からの質問に答える上位の受賞者



入賞の力作を並べた作品展



福井市清水西小学校6年
田中 稟愛さん

講評 (審査委員長)

とても丁寧に防災マップが描かれています。文字も読みやすく、どの地域でも参考となる内容が盛り込まれています。可愛らしいイラストに関心を持って近づくと、そこには(下欄には)災害時の生々しい写真が解説付きで掲載されています。これらの写真から、住民それぞれの避難のきっかけ(トリガー)を見いだせるのではないかと思います。この作品にあるように「犬も家族」です。平時にペットの対応も考えておきたいですね。

マイハザードマップ 防災MAP 2022

昨年(2021年)7月7日記録的豪雨で志津川の左岸が決壊しました。春までようやく復旧工事が始まり、私はほっとしました。しかし今年も記録的豪雨が来ました。南越前、今庄、勝山に浸水被害が多発しています。被災された写真や映像を見て心をなやましていた私の家の立地は志津川を見渡せるので大雨が降ると川の水量がとんとん増えていくのが分かります。こうして地域の川を理角することが大切だと気づきました。

我が家のルール

- ① 父・母・子も3人祖父母(おじいちゃん)
- ② 犬も家族

避難のルール

- ・あわてない
- ・ゆくりと
- ・ころばない

非常時の食事レシピ

防災グッズ準備OK?

「備えあれば災いなし」お店に防災グッズがセットでも売っていますが、家にあるものでじょうぶに準備ができます。ローリングストックの管理が少し多めに食料水がロスを減らして、使ったら使った分だけ新しく買い足していきます。一定量の食料を常に備蓄しておくことをおすすめします。

非常時の食料

水

子ども用

大人用

避難場所

大雨によって発生する災害

- 内水氾濫
- 外水氾濫
- 道路の冠水
- 床下・床上浸水
- 急行斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり

浸水するとどうなるの?

避難は!!

【事前の確認】

【浸水前の避難が大原則】

【家族で相談してきたこと】

【感想】

【避難準備物】

【非常備用品】

【避難場所】

【安否確認方法】

【防災カード】

【家族で相談してきたこと】

【感想】

【避難準備物】

【非常備用品】

【避難場所】

【安否確認方法】

【防災カード】

受賞者コメント

昨年、ぼうさいコンテストに参加してから防災について考えることが増えました。例えば大雨が降ると川の水量の増加や道路がよく冠水する場所があるということです。いつもの景色と大雨の景色のちがいに気づきました。近くに山がある人は、土砂崩れが起きるかもしれません。近くに川がある人は、増水により決壊や氾濫が起きるかもしれません。近くに海がある人は、津波が起きるかもしれません。地震はどこに住んでいても起きる可能性が誰でもあります。

私たちが忘れてはいけないことは、自分が住んでいる地域の特性を知って生活することだと思いました。減災できるように非常持ち出し袋の準備が必要だと、リスト作りをしました。



敦賀市中央小学校5年
上野 湖花さん

講評 (審査委員長)

大雨によって発生する可能性のある現象として、内水氾濫、外水氾濫、道路の冠水、床下・床上浸水、急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりを取り上げ、それぞれの概要をわかりやすくまとめています。また、それぞれに対する「わが家の注意レベル」を★を使って表現し、互いにチェックし合える体制となっています。家族の決意も示されており、実践(行動)にちゅうちょしない覚悟を読み取ることができます。

わが家の防災計画

水害に備えて命を守ろう!

2022年8月4日(日) 20時30分～翌朝

4市1町31万人避難指示

【大雨によって発生する災害】

- 内水氾濫
- 外水氾濫
- 道路の冠水
- 床下・床上浸水
- 急行斜地の崩壊
- 土石流
- 地すべり

【事前の確認】

【浸水前の避難が大原則】

【家族で相談してきたこと】

【感想】

【避難準備物】

【非常備用品】

【避難場所】

【安否確認方法】

【防災カード】

【避難準備物】

【非常備用品】

【避難場所】

【安否確認方法】

【防災カード】

受賞者コメント

8月4日に福井県で記録的豪雨が発生しました。私の家は笙の川のそばにあるため、川が氾濫しないか怖くて、その日は妹と二人で留守番だったため、ドキドキしながら雨がやみますようにと、てるてる坊主を7個作って、家族の帰りを待ちました。

南越前町や勝山での被害が大きく、私の父もボランティア活動へ行き、がれきの撤去や泥あげを手伝いました。平成25年に台風18号により父の地元若狭町で被害があったときにたくさんのボランティアの方々に助けてもらったことを一生忘れないと父は言います。

夏休みの大雨をきっかけに水害に備えて命を守る防災計画を作成できたので、取るべき行動が明確になりました。てるてる坊主を作る前に、雨がやみますようにと、祈る前にすべきことがある。災害が起きたとき、必ずしも家族全員がそろっているわけではないので、一人一人が災害に対する知識を身に付け、冷静に慎重に避難できたらと思います。



越前市吉野小学校4年
一 弘晃さん

講評 (審査委員長)

「あたりまえの物」が使えない場合を想定し、その時どうするかについてまとめられています。とくに、冷凍庫の中身を工夫して上手に利用する方法に興味的印象的です。「カセットコンロは非常時の王様だ!」と言い切っていることから、応募者自ら実践して検討したことがうかがえます。イラストが落ち着いたやさしい色で見やすく配置されていることもあり、毎日見ても飽きのこない作品です。



福井市東郷小学校6年
岡田 桜子さん

講評 (審査委員長)

避難場所および非常時持ち出し袋の点検を通じて問題点を洗い出し、その解決策(決意)を明確にしています。中でも「これから毎年9月1日(防災の日)に水や食品の見直しをしよう家族で話し合いました」との決意は、他の家庭にも大いに参考になるのではないのでしょうか。「家族で話し合った」「家族全員で参加した」とこと自体がこの家族の宝であり、重要な防災行動なのだと思います。

わが家の防災行動計画

両親が仕事時の防災
9歳 3歳 4歳 1歳
よろしくお知合いします
夏休み 冬休み 春休み
兄弟 姉妹 家族から帰ったら
ママのおまかせです

越前市吉野地区家久町
家の2階へ
避難場所
吉野小学校

田んぼ地帯は農用水路が多い
日野川 吉野川に大雨が降ると
洪水発生する
水が溢れ出ると
水が溢れ出ると
水が溢れ出ると

防災行動 命を守る
40秒間の準備時間
家の2階へ避難
非常時持ち出し品
水 食料 衣類
ママのおまかせ

電気・ガス・水道「あたりまえの物」が使えなくなったら
お風呂の栓を締める
お風呂の栓を締める
お風呂の栓を締める
お風呂の栓を締める

防災マップ
大雨の時 歩き中の人は
避難場所
避難場所
避難場所

水害 線状降水帯・大雨

もしも家や車がコロナに感染していたら!
ひんぱんはどうすれば良いのかな
家は木造ではない 外に出るより家の中の方が安全かと思いませんか?

越前市吉野地区片屋田
防災マップ
家と話し合い
避難場所は(誰)を(誰)けることか?
安全な親せみの家に避難するのかな?
市や保健所の指示には従います

避難指示が出たら
マスク・ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット
ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット
ヘルメット・ヘルメット・ヘルメット

わが家の非常持ち出し品
お風呂の栓を締める
お風呂の栓を締める
お風呂の栓を締める
お風呂の栓を締める

受賞者コメント

ぼくの住む越前市吉野地区は、田畑が多く自然ゆたかなところです。でも用水路が多く今年の8月のような、線状降水帯が発生すると、たちまち用水の水かさがましてびっくりしました。ぼくの家は、父と母は仕事があり、ぼくたち4兄弟は母の実家で両親のおむかえまですごしています。その時に災害が発生したらどうしよう?! あわてないように母と祖父母で、たくさん話し合い地域の防災対策、マップなどを調べました。そして食料や日用品・衣服なども見直して、足りない物をほじゅうしました。最近、雨がふると大雨! 台風も、ものすごく強い風! 雪はどかさ! そして夏の一般的な気温! 地球温暖化が進んでいるのかな? ぼくが今できることは地球かんきょうを守ること、水と電気の使い方に気を付けること、そして命を大切にすることです。

わが家の防災マップ

水害から身を守る

防災計画
8月4日 福井県で線状降水帯が発生し、記録的短時間大雨情報が発せられました。その日は一人だけで学校です。お父さんもお母さんも仕事で、お兄さんもお姉さんもお友達も学校です。テレビは大雨情報が出ていて、お兄さんもお姉さんもお友達も学校です。お父さんもお母さんも仕事で、お兄さんもお姉さんもお友達も学校です。

4市1町 31万人 避難指示

防災訓練
お父さんとお母さんと一緒に防災訓練をしました。家族全員で参加しました。お父さんとお母さんと一緒に防災訓練をしました。家族全員で参加しました。

ハザードマップ
お父さんとお母さんと一緒にハザードマップを見ました。お父さんとお母さんと一緒にハザードマップを見ました。

避難場所
お父さんとお母さんと一緒に避難場所を見ました。お父さんとお母さんと一緒に避難場所を見ました。

非常時の持ち出し品・備蓄品
お父さんとお母さんと一緒に非常時の持ち出し品・備蓄品を見ました。お父さんとお母さんと一緒に非常時の持ち出し品・備蓄品を見ました。

感想
お父さんとお母さんと一緒に感想を書きました。お父さんとお母さんと一緒に感想を書きました。

受賞者コメント

工夫したところは、新聞紙の切りぬぎを使ったり、写真をはったりしたところです。苦労したところは、スマホが使えなくなったときのために、公衆電話を探しに行き実際に一人をかけてみたことです。1回目は、ドアの開け方が分からなかったり、電話が繋がらなかったりしてあせりましたが、2回目はしっかりとできたのでよかったです。そして、非常時の持ち出し品・備蓄品の見直しとチェックにも時間がかかり、苦労しました。賞味期限がきれている物があって、買い直しました。家族で集まって意見を出し合い、まとめるのが大変でした。でも、家族で話し合うことによって具体的に考えることができました。災害は、いつおこるか分からないけど、準備をすることによってあわてず、行動ができると思います。このマップを作ったことによって、家族みんなの災害への意識がより高まりました。



福井市豊小学校5年
田川 歌鈴さん

講評 (審査委員長)

「パート4」なるこの作品は、年々レベルを上げ、この完成度まで到達しました。4年前にお姉さんが防災マップを作成して以来、継続して更新する姿勢は皆のお手本となるものです。内容もたいへん充実しており、情報満載です。とくに、下校途中や公園にいるときなど、日常生活で想定される場面ごとの防災(対応)が詳細に示されています。何より、冒頭にあるご家族全員笑顔のイラストが素敵です。



受賞者コメント

最近、石川県で地震が多くなっているとニュースで知り、3年生の時に大きな地震が起きたとてもよかった事を思い出しました。
その時は学校だったので先生の指示にしたがって机の下にもぐったり校庭へ避難して、落ち着いて行動できたのですが、もし一人で家にいるときや友達と公園で遊んでいるときに大きな地震が来たら、どのように避難をすればいいのか、日頃から少しでもそなえることができるように調べようと思いました。
防災マップで工夫したところは、地震が起きてから避難するまでの行動をわかりやすくまとめたところと、地震はいつ来るのかわからないので家の中や習い事、よく遊ぶ公園などで地震が起きた時にどのように避難すればいいのかをくわしく書きました。
毎年この時期になると防災について家族で話し合うようになりました。今回の防災マップ作りで調べたこと、わかったことを生かして災害にしっかりとそなえていきたいと思います。



福井市順化小学校6年
藤本 大翔さん

講評 (審査委員)

まわりに起きた災害と、その時の家族への影響や行動を調べ、わかりやすくまとめています。コロナと自然災害が同時に起こった場合についてもよく考えてあり、いろいろな状況を予想して、色使いを工夫して防災マップを作ったことがわかりました。



福井市日之出小学校6年
櫻井 栄太郎さん

講評 (審査委員)

地区の防災訓練時に常に話題となる「ペット避難」。家族の一員であるペットと一緒に避難する方法についてよく調べてあり大変良かった。まずは飼い主が無事であること、次に日頃からペットのしつけと健康がとても重要だと感じました。友達にも教えてください。





福井市円山小学校1年
牧田 樹莉さん

講評 (審査委員)
初めての防災という感じで初心に返るような内容でした。中でも身近な危険個所の確認や安否情報の入手方法をしっかり調べ、さらに衣食住でのアイデアなどを家族と話し合い、心温まる防災計画でした。今後も、家族の皆さんと一緒に防災について話し合ってください。



福井市東郷小学校6年
高橋 美和さん

講評 (審査委員)
「危険だなと思ったところ」を実際に家族で確認して簡潔に防災マップとしてまとめられています。避難ルートについても危険な場所や浸水状況に応じて、4つのルートを検討されています。いざという時の避難に生かされると感じさせられました。



福井市社北小学校6年
上田 彩葉さん

講評 (審査委員)
気象庁の警戒レベルと合わせて、必要な情報(地図上での避難経路等)と具体的な「私と家族」及び「地域」の行動をご家族と話し合いながら、具体的にまとめられており、いざ雨が強まり避難する際に役立つと感じさせられました。作者の優しさも見えます。



勝山市北郷小学校6年
田中 大樹さん

講評 (審査委員)
避難所の小学校や公民館までの避難ルートと危険個所等をわかりやすくマップにした点、今年8月4日の行動と確認事項をパソコンの画面の写真も使って整理した点がとても良かったと思います。家の中の目立つ所に掲示して常に意識していただきたいです。



坂井市雄島小学校6年
中島 大貴さん

講評 (審査委員)

地震時の行動の知識をまとめた上段と家や外での具体的な行動をまとめた下段にわけている点がとても良かったです。日頃からカメラのポーズ等の写真を見て意識することで慌てない行動が取れると思われるので、家の中の目に付くところに掲示していただきたいです。



坂井市高椋小学校3年
岩佐 将太郎さん

講評 (審査委員)

自分の町に愛着を持ち、町のどこがぶなかわかりやすく地図にした点がとても良かったと思います。家族とはなれているときに、連絡を取る練習を行ったことも大切です。これからも、町の様子でできたことがあったら、家族に教えてください。



坂井市三国西小学校5年
古木 綾乃さん

講評 (審査委員)

いざ津波が発生したときの避難経路が分かりやすく描かれ、持ち出し物リストと家族の約束もよく話し合った様子が伝わってきます。また、今年8月の大雨によって自宅近くの九頭竜川の様子がいかに変化したかを写真で示し、見る側にインパクトを与えています。



鯖江市北中山小学校4年
川端 千陽さん

講評 (審査委員)

防災訓練に参加し、その時に知ったことや感じたことをきれいに整理しているので、わかりやすいポスターになっています。ひなん所となる、小学校のそなえや公民館の様子も調べ、すんでいる町の気候を調べている点も良かったと思います。



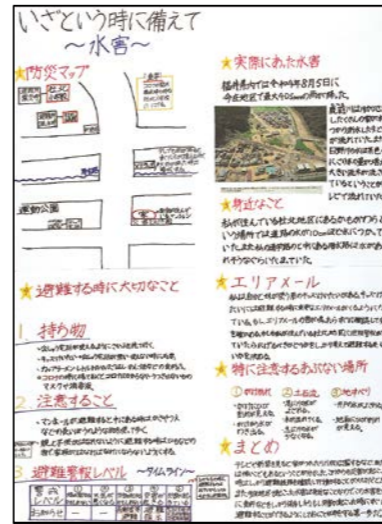


若狭町三方小学校6年
長谷川 沙津紀さん

講評 (審査委員)
身近に迫る「もしも」に備えての事前準備や、「もしも」が起きた際の行動など、分かりやすくまとめています。自宅周辺と町のハザードマップを比較し、危険区域の把握・考察ができていて素晴らしい。コロナ下での避難方法も調べており、現代的で実用性の高い作品です。



福井市社北小学校6年
津田 彩花さん



福井市社南小学校5年
藪根 鈴子さん



福井市社南小学校6年
服部 真璃阿さん



福井市社南小学校6年
角田 茜さん



福井市社南小学校6年
伊藤 詩音さん





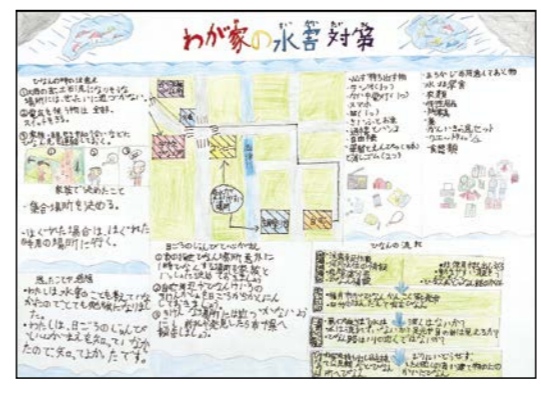
福井市社南小学校6年
中村 羽玖さん



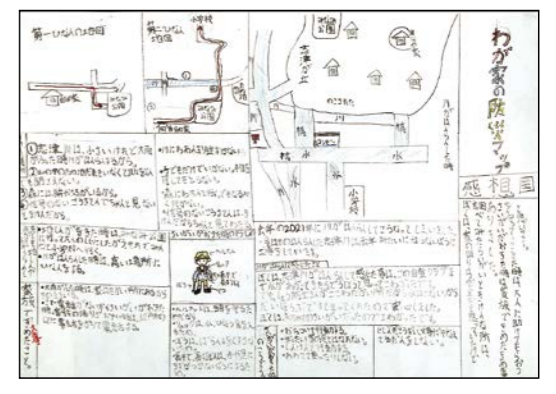
福井市社南小学校6年
宇野 銀志朗さん



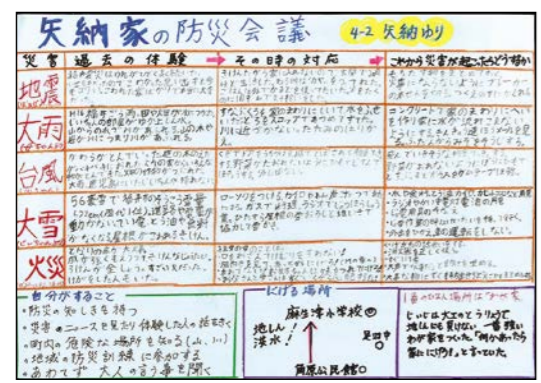
福井市清水西小学校4年
山口 莉央さん



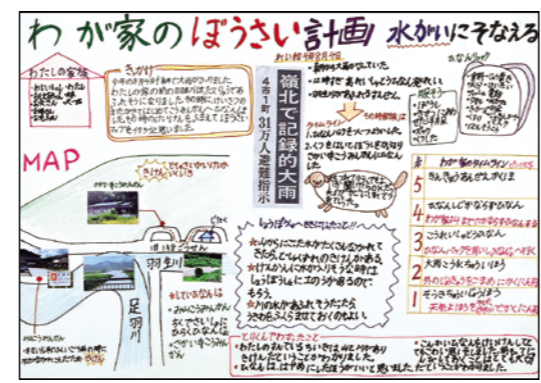
福井市清水西小学校4年
青木 佑晟さん



福井市麻生津小学校4年
矢納 友侷さん



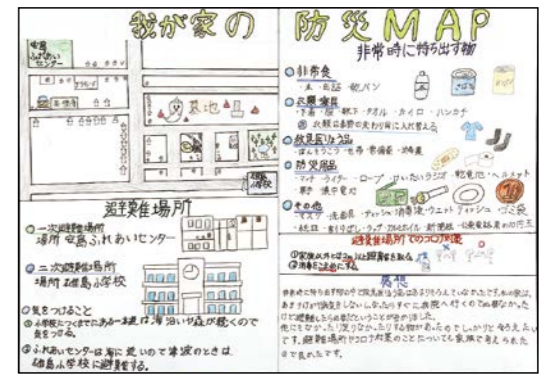
福井市美山啓明小学校3年
川端 乃愛さん



坂井市雄島小学校5年
新谷 武蔵さん



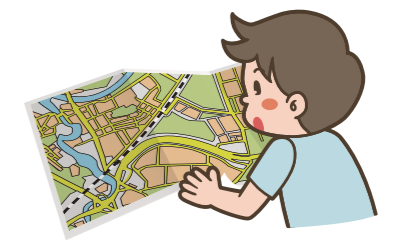
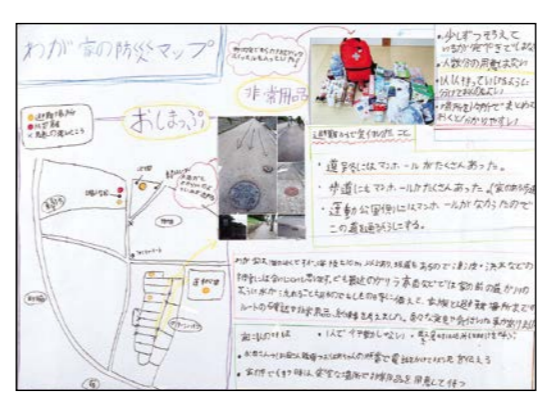
坂井市雄島小学校6年
岡崎 友穂さん



福井市美山啓明小学校5年
川端 颯真さん

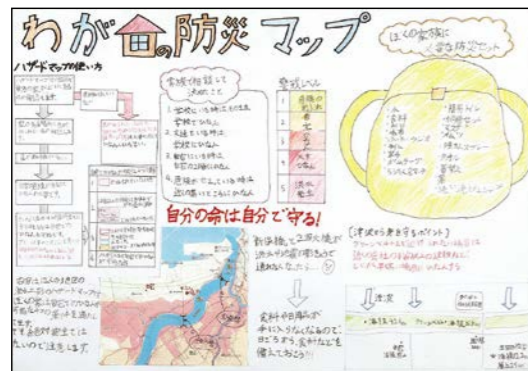


坂井市雄島小学校6年
道川 創太さん





坂井市三国西小学校6年
松浦 隼士さん



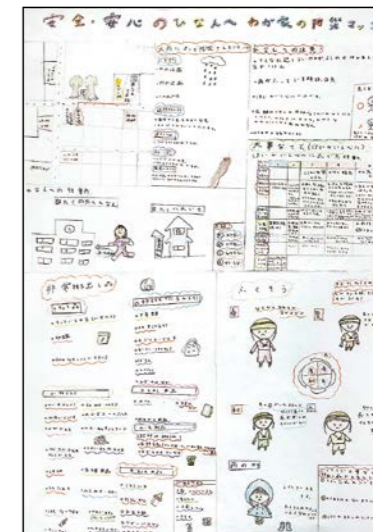
坂井市三国西小学校6年
今田 光海さん



鯖江市北中山小学校5年
宮澤 真佑乃さん



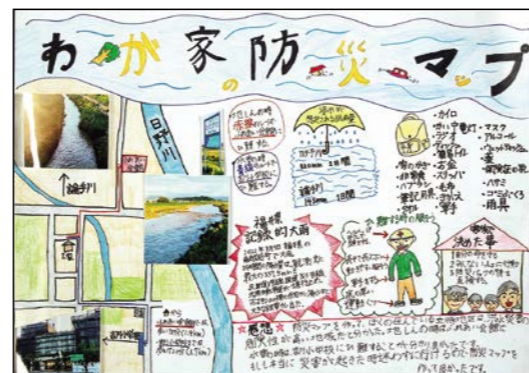
越前市吉野小学校5年
福田 陽菜さん



鯖江市惜陰小学校4年
北川 珠莉さん



鯖江市立待小学校6年
橋本 稜央さん



鯖江市北中山小学校4年
田中 結士さん



防災出前授業やってます!

国土交通省福井河川国道事務所 ☎0776-35-2661
福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作り、ご希望の方に配布しています。

また、国土交通省や福井県では小学校へ出向いての防災出前講座を行っていますので、ご希望があればご相談ください。

主催／ふくいの水防災を考える会（福井河川国道事務所、福井地方気象台、福井県、福井市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、池田町、南越前町、若狭町）

共催／福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会 福井県防災士会

特別協賛／JA共済連 福井 協賛／近畿建設協会 損保協会北陸支部福井損保会 協力／ミドリ防災

令和4年12月発行